

万博公園春の渡り鳥調査結果 (2009年度)

調査期間 09年4月15日～5月5日

調査目的・方法など 昨年までと同一

製作：吹田野鳥の会

協力：独立行政法人日本万国博覧会機構

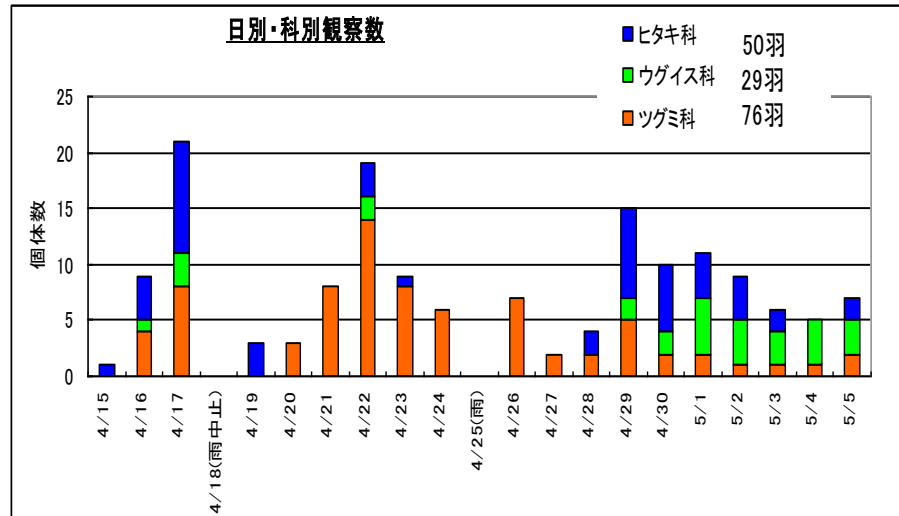
①ヒタキの仲間

1. 09年ヒタキの仲間の概要

- ・09年ヒタキの仲間3科の渡り鳥は8種、昨年12種に比し4種減となり、調査開始後7年間では06年6種に次ぐ、07年と同じ低レベルとなった。
- ・新しく観察できた種はなく、昨年観察種ではコルリ・ノビタキ・ヤブサメ・オオヨシキリが確認できなかった。
- ・個体数は155羽と、調査開始後の3番目ではあったものの、昨年234羽と多かっただけに少ないと感ずる結果となった。
- ・種別ではキビタキが半減し(54→25羽)、アカハラも昨年比2/3(98→69羽)に止まったことが大きく響いた。オオルリ・センダイムシクイ・クロツグミ・コサメビタキも減り、若干ながら増えたのはマミチャジナイ・エゾムシクイの2種に止まった。

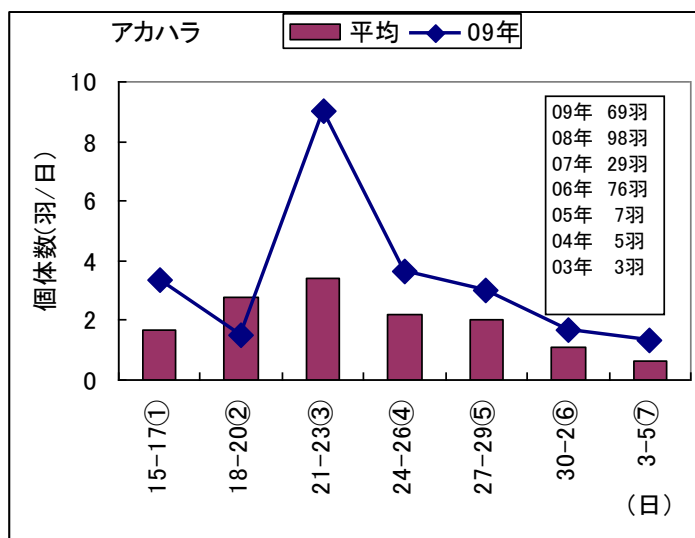
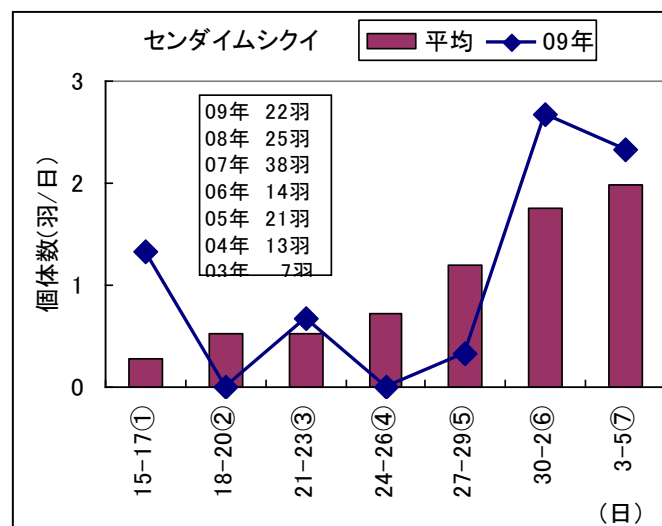
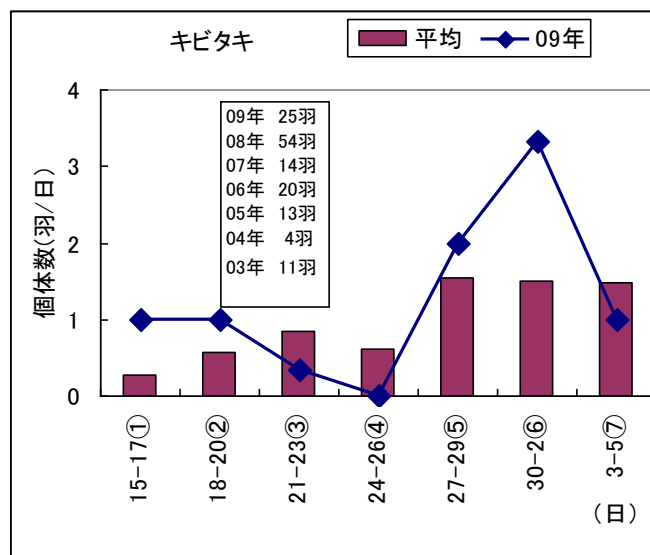
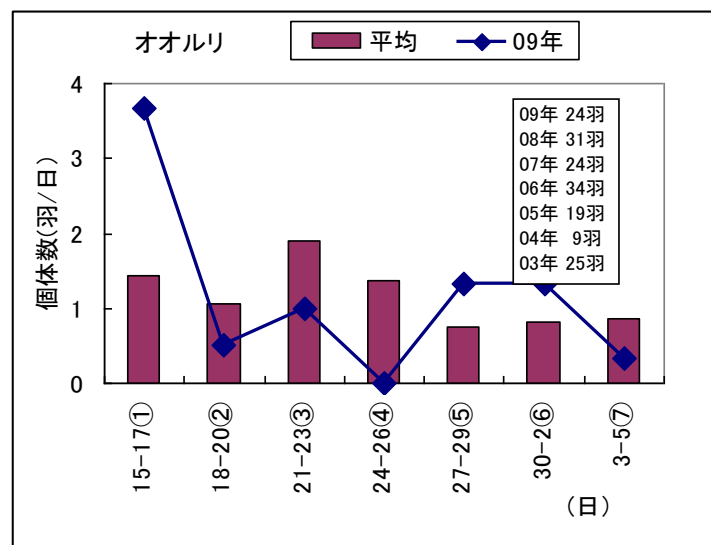
		09年	08年	07年	06年	05年	04年	03年	(09-08年)
ツグミ科	コマドリ	0	0	0	0	0	1	2	0
	コルリ	0	2	0	0	0	1	0	▲2
	ノビタキ	0	3	2	5	0	0	0	▲3
	クロツグミ	2	5	0	1	0	2	2	▲3
	アカハラ	69	98	29	76	7	5	3	▲29
	マミチャジナイ	5	2	0	282	0	0	0	+3
ウグイス科	ヤブサメ	0	4	1	0	0	0	2	▲4
	オオヨシキリ	0	1	0	1	0	0	1	▲1
	メボソムシクイ	0	0	0	2	0	1	2	0
	エゾムシクイ	7	5	7	2	11	4	2	+2
	センダイムシクイ	22	25	38	14	25	13	7	▲3
ヒタキ科	キビタキ	25	54	14	20	13	4	11	▲29
	オオルリ	24	31	24	34	19	9	25	▲7
	コサメビタキ	1	4	6	4	1	1	0	▲3
個体数計		155	234	121	441	76	41	57	▲79
種数		8	12	8	11	6	10	10	▲4

除アカハラ・マミチャジナイ 81 134 92 83 69 36 54 ▲53



- ・ヒタキの渡り鳥の個体数を、日別・科別に見てみた。
- ・3種トータルでは4/17にピークがあったものの、翌18日が雨天中止となったこと、また、例年渡り鳥が最も良く観察されてる4/25は雨天の中で実施したものの渡り鳥が観察できなかったことなどが、個体数が伸びなかった要因となった。
- ・科別で見るとアカハラを中心とするツグミ科が前半4月中旬～下旬にピーク、センダイムシクイを中心とするウグイス科は後半5月に入ってピークがあった。
- ・ヒタキ科はオオルリが前半に多く見られたのに対し、キビタキは後半中心となった。しかし例年最も良く見られる筈の4/25前後(の一週間)はオオルリ・キビタキともほとんど観察できなかった。

2. オオルリ・キビタキ・センダイムシクイ・アカハラの個体数(3日ごとの推移)



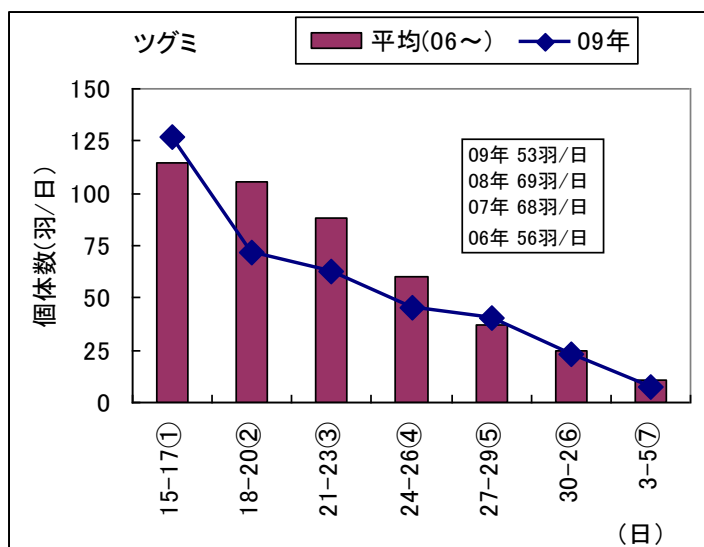
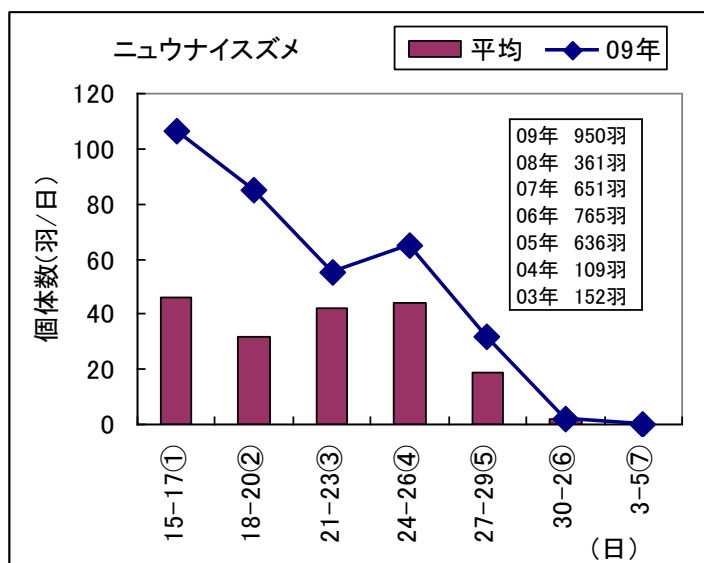
・ヒタキの仲間のうち例年渡りの数が多い4種について、調査日を3日毎に①～⑦区分し、個体数推移を図示した。

・オオルリは調査期前半に多いものの、期間中ほぼ観察できることが分かった。これまで渡りのピークは4月25日前後と思っていたが、④区分のピーク度が思いのほか低く、今年は全く観察できなかった。しかも今年のピークは調査開始直後の①区分にあった。

・キビタキ・センダイムシクイは調査期後半に渡りのピークの出る傾向にある。中でもセンダイムシクイ渡りは5月に入ってからということが、はっきりした。

・アカハラは4月下旬(③区分)にピークがあり、5月に入るとほとんど観察されないことがわかった。

②ヒタキ以外の渡り鳥



1. ハタオリドリ科ニュウナイスズメ

今年は950羽と過去最大数を確認した。例年4月20日～25日頃にピークであったが、今年は4月17日に210羽と、一日の観察数でも最大を記録した。終認は4月30日で、5月に入る全く観察できなかった。

2. そのほかの渡り鳥

今年は春の渡り鳥として初記録の鳥はなく、毎年観察できるコチドリが9羽、2回目のアリスイ・サンショウクイ・コムクドリが各1羽ずつであった。ヒタキの仲間8種、ニュウナイスズメを合わせた春の渡り鳥トータルが13種に止まり、昨年18種に比し5種減となった。

③冬鳥の状況

1. ツグミ科ツグミ

冬鳥のツグミについて、今年も調査期間中ほぼ毎日カウントした。

ツグミの個体数カウントは06年から行っているが、調査開始日の頃にピークがあり漸減していく状況は、この4年間平均と09年の傾向がほぼ一致している。昨年は調査最終日5/5にいなかったが、今年は8羽確認できた。

2. ツグミ科シロハラ、アトリ科アトリ・マヒワ・シメ

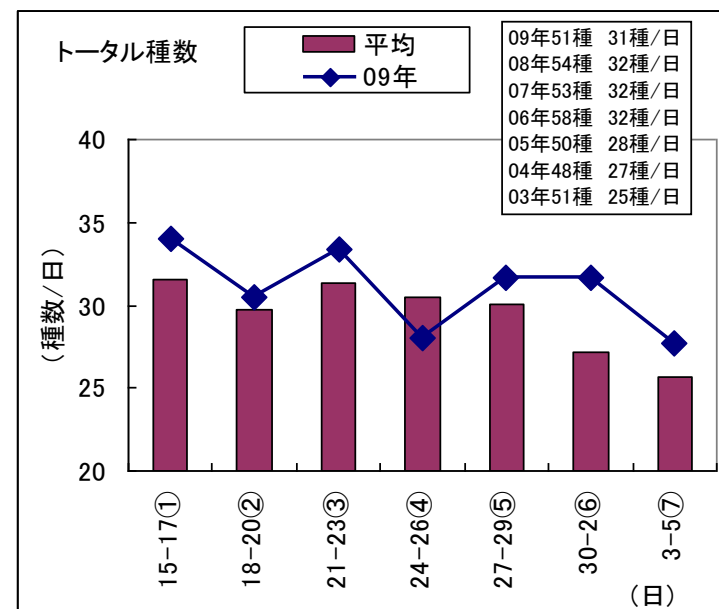
その他の冬鳥について、ほぼ毎日カウントしたが、結果は以下の通りである。

- ・シロハラ：最大数(4/16)14羽、終認(5/1)1羽
- ・アトリ：最大数(4/16)10羽、終認(4/30)1羽
- ・マヒワ：最大数(4/16, 4/17, 4/26)何れも100羽、終認(5/1)10羽
- ・シメ：最大数(4/15)33羽、(5/5)2羽で終認日を確認できず

4種とも調査開始日前後がピークで、5月初旬が終認日となっている。

⑤トータル観察種（基礎数字は別表参照）

- ・調査期間中に確認した観察種数トータルは51種(08年54種)で、一日平均種数31種(08年32種)と昨年より少なかったが、ほぼ平均レベルであった。
- ・調査した20日間とも確認できた種は12種(08年14種)であった。
- ・今年初めて確認した種はなく、何れも過去6年間に確認していた種であった。
- ・このように、09年度はヒタキの仲間観察種数と個体数、トータル観察種がともに低レベルに止まった。そんな中、今年の調査期間内で特筆すべきは、ニュウナイスズメとマヒワの大群が見られたことである。



⑥渡り鳥の確認場所について(別図①～⑤)

1. 渡り鳥の観察した場所を別図1～5に示した。
2. **オオルリ**(別図①)は昨年同様「日本庭園東側の落葉樹林」「日本庭園茶室北側の外周沿いの落葉樹林」で観察できた。
3. **キビタキ**(別図①)は「松の池周辺」などで確認された。昨年多かった「水車小屋～森の足湯の南側常緑樹林」「渡りの沼から上津道沿い遠見の丘にかけての常緑樹林」での観察は少なかった。
4. **センダイムシクイ**(別図②)は昨年ほど多くなかったが、調査時の状況から明るい落葉樹林で見られた。
5. **アカハラ**(別図③)は今年「自然学習の森」に多かったが、昨年多かった「自然文化園東南端・月桂樹の丘南の常緑樹林」「日本庭園東側の落葉樹林」には観察できなかった。
6. ニュウナイスズメ(別図④)が特徴的である。日本庭園東から北側に広がる落葉樹林、自然文化園東口～東大路の桜並木でおおかった。ニュウナイスズメの餌はソメイヨシノ・クヌギの新芽である。
7. 昨年に比し渡り鳥が少なかったことなどから、生息環境に関する新しい知見は得られず、渡り鳥の大部分の種が落葉樹林を利用している中で、キビタキのみは落葉樹林よりも常緑樹林を好んでいるという、前年までの状況を確認するのみに止まった。
8. また、大阪城公園に比し渡り鳥が少ないという状況は今年も変わらなかった。この要因の不明のままである。(以上)

(尚、この調査は吹田野鳥の会会員延べ55名の協力により実施したものである)

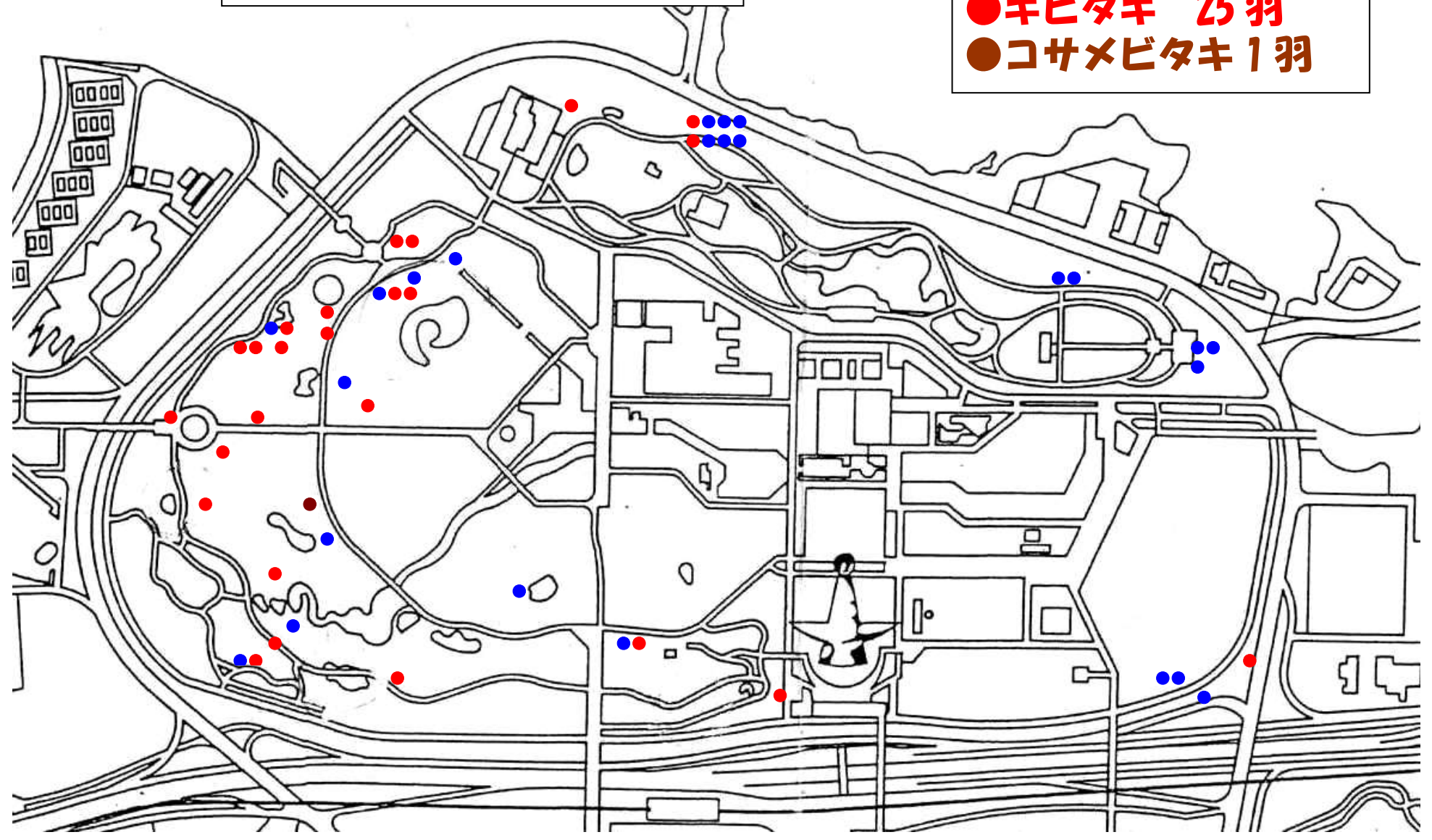
別表

No.	科名	種名	観察日数													09年 観察 日数	08年 観察 日数	07年 観察 日数	06年 観察 日数	05年 観察 日数	04年 観察 日数	03年 観察 日数	07年比 増減	種名	09年 観察 個体数	08年 観察 個体数								
			4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27												4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5
1	カイツブリ	カイツブリ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	20	20	21	20	18	16		カイツブリ			
2	ウ	カワウ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	20	20	21	19	13	18	▲3	カワウ			
3	サギ	ダイサギ														○	○	○	○	○	○	8	6	3	3	2			+5	ダイサギ				
4	サギ	コサギ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	6	15	15	3	12	6	+4	コサギ			
5	サギ	アオサギ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	14	16	16	18	13	15	+2	アオサギ			
6	サギ	ササゴイ																							1	1					ササゴイ			
7	サギ	ゴイサギ																							1						ゴイサギ			
8	カモ	オシドリ																							15	2	1			▲15	オシドリ			
9	カモ	マガモ																							14	13	20	17	15	9	▲13	マガモ		
10	カモ	カルガモ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	20	20	21	20	16	18		カルガモ			
11	カモ	ヒドリガモ													○								1			1				+1	ヒドリガモ			
12	タカ	ミサゴ																							1						ミサゴ			
13	タカ	オオタカ			○					○	○												5	6	7	2	1	1	2	▲2	オオタカ			
14	タカ	ツミSP																							1						ツミSP			
15	タカ	ハイタカ																							2		2			▲2	ハイタカ			
16	ハヤブサ	ハヤブサ																							2						ハヤブサ			
17	クイナ	バン											○										2		13	8	13		11	▲11	バン			
18	チドリ	ケリ	○																				2	1	3	1				▲1	ケリ			
19	チドリ	ムナグロ																							1						ムナグロ			
20	チドリ	コチドリ	1	1						1	1												9	5	1	4	12	5	3	+8	コチドリ	9	5	
21	シギ	クサシギ																								1					クサシギ			
22	シギ	タシギ																							1					▲1	タシギ			
23	カモメ	カモメSP																									1				カモメSP			
24	ハト	キジバト	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	20	20	21	20	18	18		キジバト			
25	ハト	アオバト																								6	1	4	1			アオバト		2
26	カッコウ	ツツドリ																							1						ツツドリ		1	
27	アマツバメ	アマツバメ																							2		1				アマツバメ		3	
28	カワセミ	カワセミ													○	○							2	7	16	11	6	6	1	▲14	カワセミ			
29	キツツキ	アオゲラ																							1			2	▲1	アオゲラ				
30	キツツキ	コゲラ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	20	20	21	18	16	19		コゲラ			
31	キツツキ	アリスイ	1																				1			1				+1	アリスイ	1	0	
32	ツバメ	ツバメ	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	20	19	21	20	15	15		ツバメ			
33	セキレイ	キセキレイ										○											1	8							+1	キセキレイ		
34	セキレイ	ハクセキレイ	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	14	14	12	10	7	10	+2	ハクセキレイ			
35	セキレイ	セグロセキレイ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	19	19	19	18	16	12		セグロセキレイ			
36	セキレイ	ビンズイ			○		○	○				○											5	8	2	4	5	3	7	+3	ビンズイ			
37	サンショウクイ	サンショウクイ			1																		1	2						+1	サンショウクイ	1	2	
38	ヒヨドリ	ヒヨドリ	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	20	18	21	18	16	20		ヒヨドリ			
39	モズ	モズ								○													1				3	1		+1	モズ			
40	レンジャク	ヒレンジャク																								2	5			▲2	ヒレンジャク			
41	ツグミ	コマドリ																									1	2			コマドリ			
42	ツグミ	コルリ																							2		1				コルリ		2	
43	ツグミ	ルリビタキ																							4	2	5	3		1	▲2	ルリビタキ		
44	ツグミ	ノビタキ																							1	2	4			▲2	ノビタキ		3	
45	ツグミ	トラツグミ									1												1						1	+1	トラツグミ	1	0	

別図

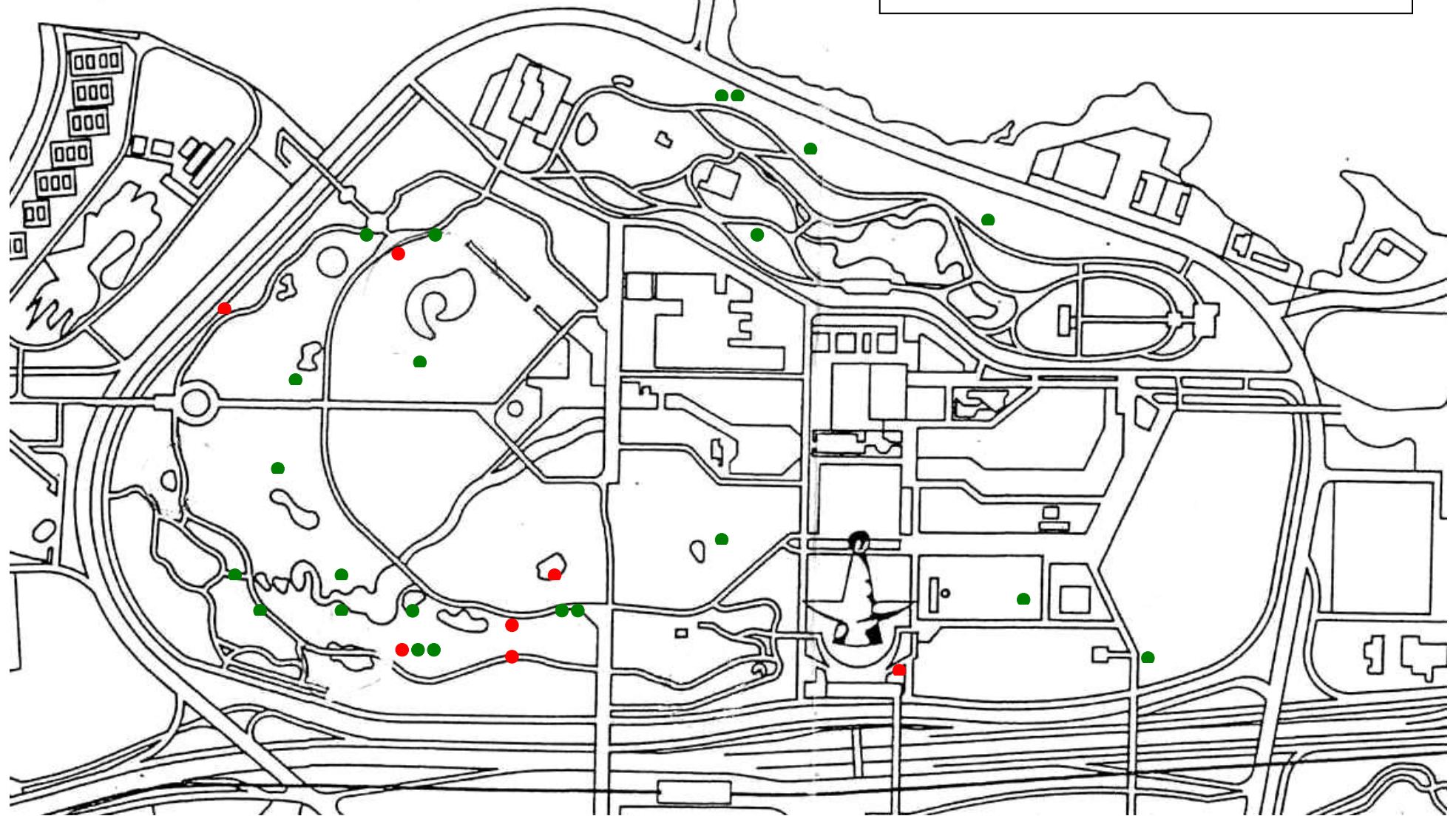
09年春の渡り鳥 ①ヒタキ科

- オオルリ 24羽
- キビタキ 25羽
- コサメビタキ 1羽



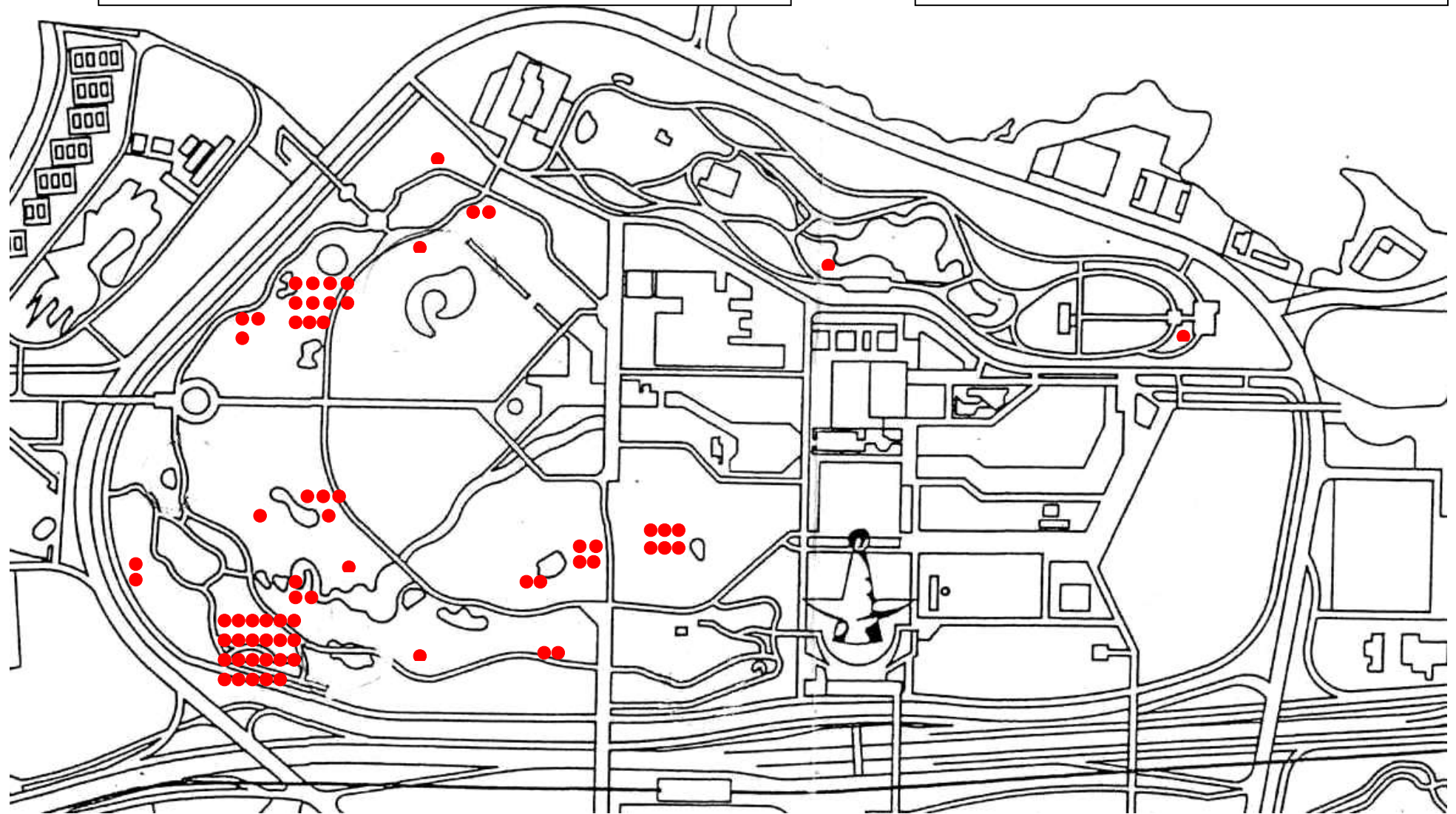
09年春の渡り鳥②ウグイス科

●センダイムシクイ 22羽
●エゾムシクイ 7羽



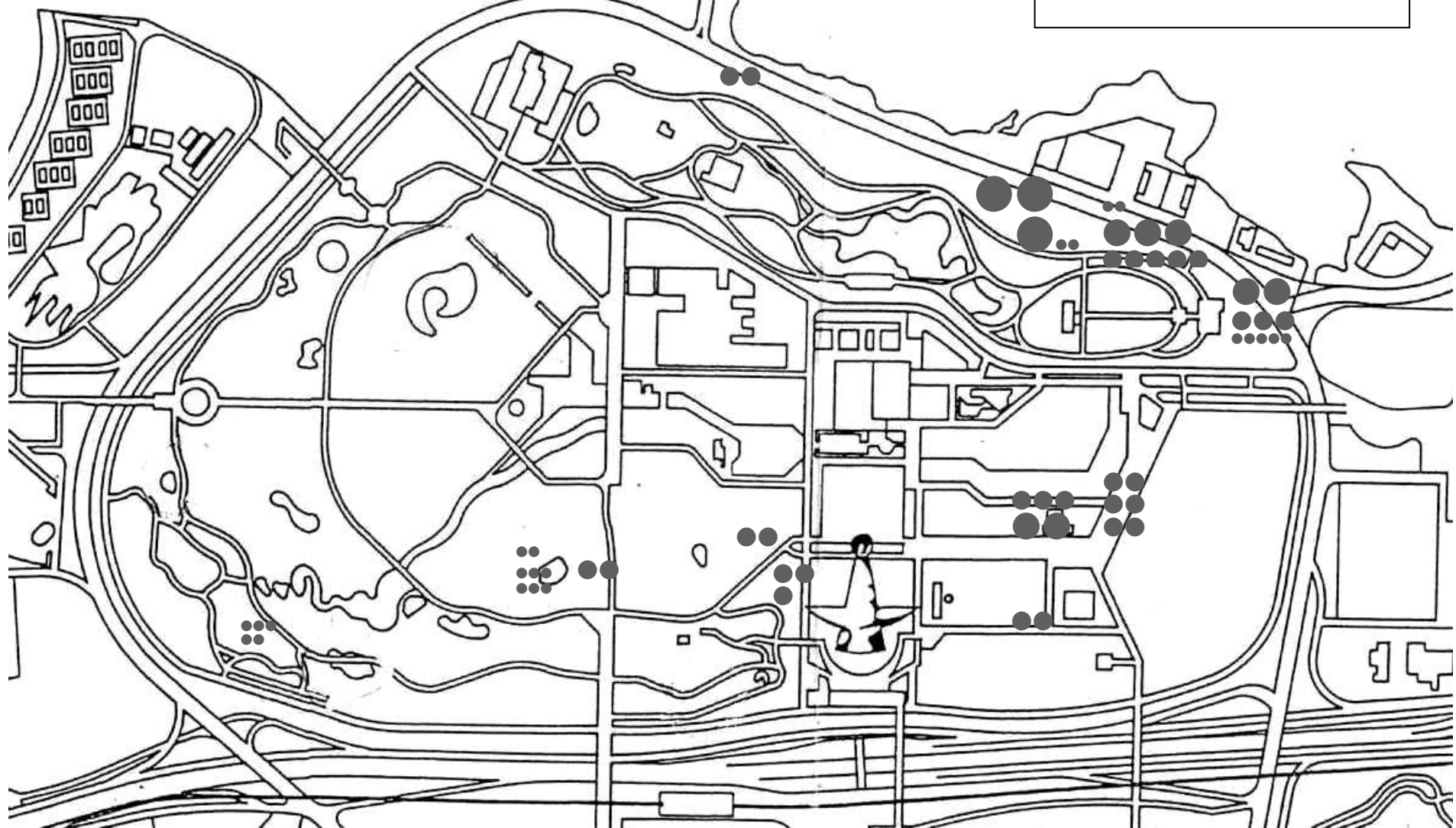
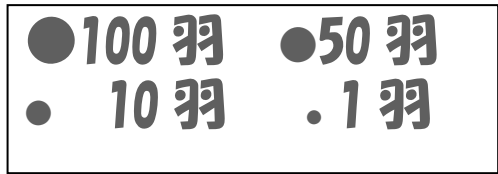
09年春の渡り鳥③ツグミ科アカハラ

●アカハラ 69羽



09年春の渡り鳥④
ハタオリドリ科ニューナイスズメ

950羽



09年春の渡り鳥⑤その他

●クログミ 2羽

●マミチャジナイ 6羽

●コチドリ 9羽

●アリスイ 1羽

